

平成26年5月30日

平成26年 第5回

# 東大和市教育委員会定例会会議録

東大和市教育委員会

## 平成26年第5回東大和市教育委員会定例会会議録

1. 日 時 平成26年5月30日（金曜日）午後2時00分～午後2時17分

2. 場 所 東大和市役所中央公民館301学習室

3. 出席委員 1番 鈴木 敏彦（委員長）

2番 土 田 豊

3番 武 石 修一郎

4番 岩 田 圭子

5番 真 如 昌 美（教育長）

4. 欠席委員 な し

5. 説明職員

学校教育部長 阿 部 晴彦

社会教育部長 小 俣 学

学校教育部  
参事兼  
指導室長 石 井 卓 之

学校教育課長 岩 本 尚 史

建築課長兼  
教育施設担  
副参事 中 橋 健

給食課長 梶 川 義 夫

統括指導主事 小板橋 悦 子

社会教育課長 村 上 敏 彰

中央公民館長 福 島 啓 二

中央図書館長 関 田 実千代

6. 書 記

庶務係長 福 嶋 まゆ美

主 事 中 野 庸 平

○議事日程

第1 会議録署名委員の指名

第2 教育長諸務報告

第3 その他報告事項 (1) 東大和市立小学校及び小・中学校特別支援学級用教科書採択資料作成会議及び調査部会委員の委嘱について  
(2) 平成25年度体罰調査報告について  
(3) 中央図書館の特別資料整理に伴う休館について

---

◎開会の辞

○鈴木委員長 ただいまから平成26年第5回東大和市教育委員会定例会を開催いたします。

---

◎日程第1 会議録署名委員の指名

○鈴木委員長 日程第1、会議録署名委員の指名を行います。  
会議録署名委員は土田委員にお願いいたします。

---

◎日程第2 教育長諸務報告

○鈴木委員長 日程第2、教育長諸務報告を行います。  
教育長。

○真如教育長 平成26年4月24日から平成26年5月27日までの諸務報告をいたします。

4月24日、木曜日、新学校給食センターの運営方法に係る保護者説明会に出席をいたしました。これは何回か説明会を行っているのですが、参加される方が思ったよりも随分少なかったという印象であります。ただ、参加された方からはたくさんのご質問をいただきまして、親しく話をしながらご説明を申し上げることができました。

4月26日、土曜日、大和東保育園園舎落成式に出席をいたしました。第六小学校と隣接する場所に建設されておりまして、今後保育園と小学校の連携ができるといいですねという、声も聞かれました。

5月8日、木曜日、9日、金曜日、関東地区都市教育長協議会総会及び分科会に出席をいたしました。群馬県高崎市で行われました。文部科学省からは平成26年度学校教育関係の地方財政措置についての説明がありました。この中では特に子どもたちの読書活動推進に向けた財政措置をしているので、それを十分活用して子どもたちに読書に親しむ機会を充実させてほしいという話がありました。

5月12日、月曜日、足立区立千寿常東小学校を訪問しました。前八小の校長である加藤校長のところにお邪魔しまして、足立区の実情と学校の経営についてお話を伺ってまいりました。

5月16日、金曜日、長野県長野市で行われました関東甲信越静市町村教育委員会連合会総会と研修会に出席をいたしました。これは教育委員長、それから教育委員の方々と一緒に総会及び研修会に参加をいたしました。

総会后、東京大学の名誉教授、佐伯胖先生のご講演がありました。話の内容は「自ら学ぶ力を育む」ということで、教わるから学ぶへの転換というサブテーマのお話でありました。最後のところで、いろいろな難しい話をやわらかくしながら話していただいたのですけれども、その中で、赤ん坊の顔に向かってベーをすると、赤ん坊は最初、何か不思議な顔をして見ている。そのうち何度もやっていると、赤ん坊もベーするそうです。反応する。それについてこちらも反応してやらないと、赤ん坊は気に入らないそうです。表現はできないけれども、気に入らない。小さな子どもでも意思表示をしているので、それをきちんと受けとめてあげて、それに対する対応をしてあげると、子どもたちが赤ちゃんでもその辺のところの気持ちを受けとめて、成長にいろいろ影響が出てくると、そんな話がありました。

それから、先ほど説明しましたが、5月8日、9日の関東地区都市教育長協議会での講演会における群馬大学教授の片田敏孝先生の話の内容について説明いたします。片田先生は東日本大震災以前から釜石市の災害対策についての指導に通われていた先生です。片田先生が行かれた地域の学校の子どもたちは、災害前の教えに従って、それぞれが自分の命を主体的に守りながら避難したということで、ほとんどの方が亡くならなかったということです。それを称して「釜石の奇跡」と言っているのですけれども。大事なのは、自分の命は自分で守るのだという姿勢を日頃から身につけさせるということです。「頭の中でわかっているだけではだめなんだ。いざというときにそれができるようでないといけない。」片田先生は、繰り返しこのことを話されていました。

絆というのは、本来、お父さん、お母さん、その信頼関係がしっかり結ばれて、いつも自分が何か危ういときにはお母さんが駆けつけてくれる、お父さんが来てくれる、それが絆というふうに捉えられる向きがあるのですけれども、それはそれでまた結構ですけれども、それではなくて、いざというときには自分で自分の命を守って逃げる。そしてお父さんやお母さんも同じように自分の命を守って逃げているはずだ。お互いに逃げたところで出会って、ああお互いに良かったね、やっぱり自分の命をきちんと守れて良かったね。お父さんはちゃんとみんなが逃

げるのを信じていたよ、僕も必ずお父さんやお母さんが逃げて、そしてここお互いに無事に顔を合わせることができるだろうということを信じていたよ。それが災害のときの絆なのだという話がありました。

だから、自分の子どもが危ういからといって、家に戻ってはだめという声を遮り、自分の家に帰って救おうとするのは、絆と言えるかどうかという話をしました。迎えに行った親御さんはみんな亡くなったそうです。逃げていたら助かった。子どもは逃げていたので、お母さんが迎えに行かなければお母さんは亡くならなかったという、そういう事例もあったそうです。だから、それぞれがそれぞれのところで仕事をしていたり勉強していたりするわけですから、各々が自分の命を守るという、そういう気持ちで逃げるということが大事だということでした。

5月21日、水曜日から5月23日、金曜日まで、鹿児島市で開催された全国都市教育長協議会常任理事会・理事会合同会議に出席をいたしました。全国都市教育長協議会定期総会、それから研究大会にも出席いたしました。今年から多摩地区の副会長になりましたので、この会には理事として参加をし、総会前の理事会にも出席をいたしました。ここではそれぞれの県の実践について紹介があり、その後の分科会ではそれについて質疑応答をする機会がありました。さらに、土曜授業やコミュニティスクール、教育委員会の組織改革について、それぞれの分科会に分かれて話し合いをしました。私は2分科会で学校教育についての部会に参加し、そこでは、北海道と北九州からそれぞれの実践について報告がありました。北海道はコミュニティスクールについて、長崎県は読書活動について、それぞれ報告がありました。

最後に、5月27日、火曜日、東京都多摩地区教育推進委員会総会に出席をいたしました。通称多摩推と言われている委員会で、多摩地区の優秀な先生方を集め、多摩地区の教育課題について研究して、最後に報告をするという会です。今年は言葉と体験を重視した学校づくりということで、「多摩地区の伝統文化を生かして」というサブテーマがついております。それぞれカリキュラム部会は7人、組織運営部会が7人で行われます。委員長は私で、副委員長は石井指導室長。たまたま2人がこの会に直接かかわって指導する役割をいただきました。2月13日には全体会で報告いたしますので、またそのときにはご案内申し上げたいと思います。

以上です。よろしくお願いします。

○鈴木委員長 教育長諸務報告が終わりました。

ただいまの報告について、ご質疑等ございましたら、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 教育長諸務報告を終わります。

---

### ◎日程第3 その他報告事項

○鈴木委員長 本日は審議及び報告事案がございません。

日程第3、その他報告事項を行います。

報告事項1、東大和市立小学校及び小・中学校特別支援学級用教科書採択資料作成会議及び調査部会委員の委嘱について、本件の報告をお願いします。

統括指導主事。

○小板橋統括指導主事 それでは、東大和市立小学校及び小・中学校特別支援学級用教科書採択資料作成会議及び調査部会委員の委嘱についてご報告をいたします。

まず、5月7日、水曜日ですが、第1回目の資料作成会議を開催いたしました。小学校の教科書の調査部会では、東大和市立小学校校長9人と、市民を代表して保護者の2人に教育長からの委嘱を行っていただきました。また、小・中学校特別支援学級用教科書採択資料作成会議の皆さまは、東大和市立小学校・中学校の校長・副校長先生と、市民を代表して保護者2人の方に教育長から委員の委嘱を行っていただきました。

また、5月19日にはそれぞれの調査部会、第1回目の調査部会を開催し、小学校におきましては国語科、社会科、算数科、理科、生活科、音楽科、図画工作科、家庭科、体育科のそれぞれの調査部会について、小学校の校長、主幹教諭、主任教諭、教諭11人、市民を代表して保護者、それぞれ1人から2人の、合計いたしまして109人の方に指導室長から部会委員の委嘱を行っていただいたところでございます。

また、特別支援学級用教科書採択資料、教科書の調査部会におきましても、東大和市立小学校・中学校の校長・副校長・教諭8人、市民を代表して保護者の4人の、合わせて12人の方に指導室長から部会委員の委嘱を行っていただきましたので、ご報告をいたします。

なお、今後につきましてはそれぞれの調査部会ごとに第2回以降の部会を開催し、教科書についての調査研究の上、それらをもとに第2回の資料作成会議を6月26日に開催する予定でございますので、そちらで検討をしてみたいという予定でございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

報告事項2、平成25年度体罰調査報告について、本件の報告をお願いいたします。

指導室長。

○石井学校教育部参事兼指導室長 5月22日に都教委から平成25年度の体罰調査報告が出されたところでございます。平成25年度に関しましては、本市は体罰はございませんでした。ただ、都教委のほうからは常習・悪質・危険性のあるものがやはりまだあるということの指摘がございました。それから今回の傾向では、連続性ではなく一回性の体罰事故というのは前年度に比べて増えているという指摘がございました。本日の校長会におきまして、体罰の根絶については改めて注意喚起をしたところでございます。

以上でございます。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

報告事項3、中央図書館の特別資料整理に伴う休館について、本件の報告をお願いいたします。

中央図書館長。

○関田中央図書館長 中央図書館の特別資料整理に伴う休館でございますけれども、6月10日の火曜日から6月19日の木曜日まで休館をさせていただきます。あわせて移動図書館、みずうみ号につきましては、6月11日の水曜日、6月18日の水曜日、この2回のお休みをさせていただくということでございます。



以上です。

○鈴木委員長 報告が終わりました。

ご質疑があれば、ご発言をお願いいたします。

(発言する者なし)

○鈴木委員長 質疑を終了いたします。

これでその他報告事項を終了いたします。

---

### ◎閉会の辞

○鈴木委員長 以上をもちまして、本日予定しておりました議事日程は全て終了いたしました。

これをもって、平成26年第5回東大和市教育委員会定例会を閉会いたします。

午後 2時17分閉会

以上の会議の顛末を記載し、相違ないことを証するため、ここに署名する。

東大和市教育委員会委員長      鈴木   敏彦

会 議 録 署 名 委 員      土田   豊